



村の家族が20カ国20人の青年の ホームステイを受け入れ

平成14年度21世紀ルネサンス青年リーダー招へい事業

キーワードは夢・愛・友情・家族



▼クラフトマンテーブルでの
青年たち



▲対面式の様子



▲お礼の言葉を述べる青年代表



▲クリアセンターを
見学する青年たち

10月4日～6日2泊3日の日程で、村内20の家族が20人の外国青年のホームステイ受け入れを行いました。

これは、内閣府が行った「平成14年度21世紀ルネサンス青年リーダー招へい事業」で、福島県を訪れた青年のホームステイ体験先として、村の有志の家族が受け入れを行ったもので、訪れた青年たちは、東アジアやヨーロッパなど全員が異なる国からの来村でした。

今回の受け入れは、村青年海外派遣友の会が中心となって進められ、受け入れ家庭の募集をはじめ、外国青年たちの食事や生活習慣についてや、その国の簡単なあいさつなど、各家庭へのアドバイスも行われました。

10月4日、来村した青年たちは、いいいてクリアセンターで村のゴミ事情を研修、また、クラフトマンテーブルでは民芸品づくりの体験やバタールゴルフを楽しみました。

ホームステイ受け入れ家庭との対面式はこの日の夕方に宿泊体験館きこりで行われ、式ではホストファミリーに対して一人ずつ青年たちが紹介され、お互いにやや緊張した面持ちであいさつや握手を交わしていました。

5日は終日それぞれの家庭で過ごし、6日はきこりの屋外でさよならパーティーが行われました。

パーティーでは、宮内

ホームステイの思い出



◀川村勝彦さん(草野)ファミリー

エルハムと
過ごした日々は
一生忘れません



またいつか
遊びにきて
ください



◀草野周平さん(飯館町)ファミリー



アナさんの
笑顔が一番の
思い出です

▲佐藤陽見さん(前田)ファミリー



手紙を
書きますので
返事ください



▲長谷川圭子さん(宮内)ファミリー



芸能保存会の踊りや、青年たちが日本語で合唱する「ふるさと」が披露され、飯館の家族たちは青年たちと過ごす最後の日の楽しみました。

パーティーの中で青年たちの代表から「素晴らしい時間をありがとうございました。飯館村の家族と過ごした時間は忘れられない思い出になりました。」とホームステイのお礼と感想が話されました。この後の見送りでは、お互いに別れを惜しみながら手を握り合ったりしてお互いの友情を確かめ合い、青年らは村を後にしました。

今回の事業を終え、友の会では「平成9年のアジア太平洋青年招へい事業、昨年のハンガリー少年少女合唱団、そして今年、村の国際交流事業に対する理解は確実に進んでいる。今後もこの感動を多くの人に体験してもらえよう活動を進めたい」と話していました。